

10/12 (日)

<理科の復習>
セキツイ動物のなかま



セキツイ動物

分類	魚類	両生類	は虫類	鳥類	哺乳類
呼吸器官	エラ	② エラ ① 肺、皮膚	肺	肺	肺
表面からの	うろこ	しめった皮膚	かたい二枚のうろこ	羽毛	体毛
体温	変温	変温	変温	恒温	恒温
うまれの	卵生	卵生	卵生	卵生	胎生
	子は"水中"で生れる		子は"陸上"で生れる		

脊椎動物

背骨を中心とする骨格をもつ動物を脊椎動物という。脊椎動物のなかまには、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類がある。

恒温動物

外界の温度が変化しても、体温をほぼ一定に保つて生活する動物を恒温動物という。

変温動物

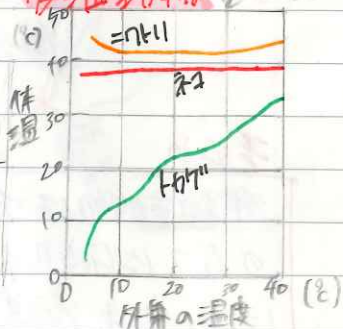
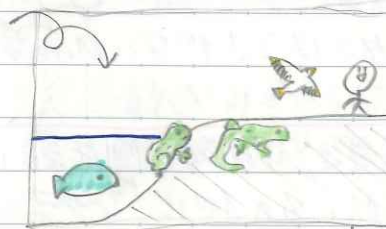
外界の温度の変化によって、体温も変化する動物を変温動物という。

卵生

親が卵をうんで、卵から子がうまれる方を卵生という。

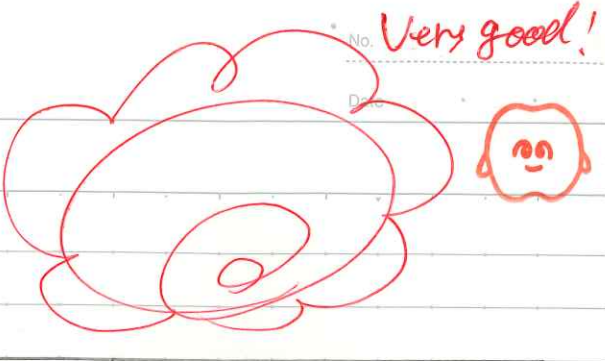
胎生

子が"ま"が母体内で、ある程度育つてからうまれるうまれ方を胎生という。



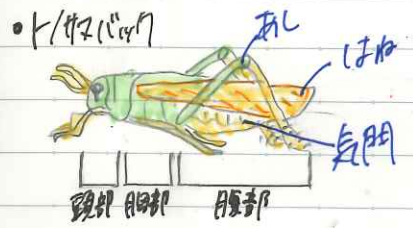
10/12 (日)

<理科の復習>
無セキツイ動物のなかま

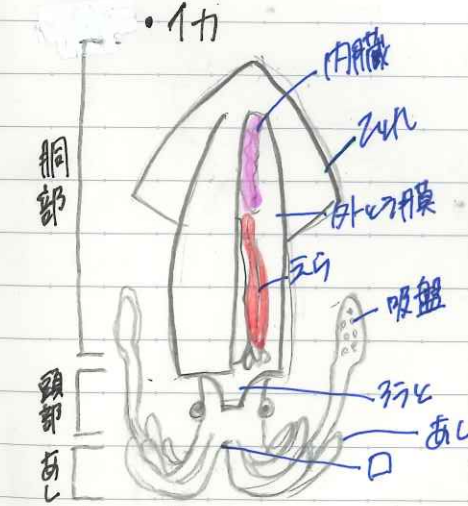


無脊椎動物

背骨がない動物を無脊椎動物という。無脊椎動物は昆虫類、節足動物、軟体動物、なまこ、アヒなどの種類がある。



(昆虫類のからだのつくり)



(軟体動物のからだのつくり)

水中で生活する
えら呼吸

無脊椎動物	昆虫類	甲殻類	軟体動物	その他
背骨がない動物を無脊椎動物という。無脊椎動物は昆虫類、節足動物、軟体動物、なまこ、アヒなどの種類がある。	バク、チョウ	エビ、ミジンコ	イカ、アヒ	ミミズ、ウニ、ナメクジ
	その他			
	ナメ、ムカデ			

節足動物

からだの"ま"が"ま"な外骨格という殻に包まれ、いくつかの節に分かれている動物を節足動物という。

昆虫類は、からだの"ま"が頭部、胸部、腹部の3つに分かれていて、あしは胸部から6本出ています。あし: 3対 あし: 2対

甲殻類は昆虫類よりあしが多い

軟体動物

外套膜と呼ばれる膜で内臓がある部分を包み、からだやあしに節のない動物を軟体動物という。"貝のなかま"は、からだの内側に外套膜があり、外側は石灰質の殻で守られている。

"イカ・アヒのなかま"は、からだの"ま"が頭部と胸部とあしに分かれていて、頭部にはイカが10本、アヒが8本のあしがある。

② 脊椎動物・無脊椎動物のそれぞれの特徴をよく復習できた。